

研究委託校・実践校の紹介

洞爺湖町立虻田中学校

学ぶ意欲を高め、主体的に学習に取り組む生徒の育成
～授業展開の工夫・改善を通して～



授業風景「水溶液の性質を調べる」

本校の研究主題は、『学ぶ意欲を高め、主体的に学習に取り組む生徒の育成～授業展開の工夫・改善を通して～』となっており3か年計画の2年目です。

特に①板書やノート指導の工夫、②生徒の「わかった」を引き出す工夫の2点について重点的に取り組んでいます。

①については『課題解決型学習』の授業展開とし、「課題」から「まとめ」までの流れを統一しています。②については、廊下に課題プリントなどを配置して、生徒が自主的に学習に取り組める環境作りに努めています。



家庭学習用プリント棚

公開研究会
11月2日(水)

登別市立緑陽中学校

自らの考えを伝え合う
「道徳科」の授業のあり方
～系統的な道徳科の授業を目指して～

本校は本年度より「特別の教科 道徳」の完全実施に向けた3か年の研修を進めることにしています。(1)系統的な指導計画の作成、(2)自ら考えを表出できる授業づくり、(3)自らの考えを伝え合う授業づくり及び評価、をもとにした仮説を設定し進めていくことにしています。

本年度は(1)を中心とし、道徳科に向けた共通理解や全体計画の見直しを現在まで進め、道徳の授業を参観し合ったり、教材の相互提供を行ったりと試行錯誤を



模擬授業のようす



講師による研修会

誤をしているところです。

先日は札幌から講師を招き、道徳の模擬授業及び研修会を行うことができました。

公開研究会
次年度
開催予定

7月27日、のぼりべつ文化交流館
カント・レラで、伊達市立伊達中学校
堀江友里菜氏を講師に招き、「写生会
でのスケッチやデッサンなどの構図や
色彩についての実技と指導法」と題し
て研修講座を実施いたしました。胆振管内
から29名の先生方の参加をいただきました。
研修講座の様子や資料については、胆振教育研究所
のホームページ上で紹介しておりますのでご覧ください。
(<http://www.iburi-education.jp/>)

平成28年度 研修講座



〈 演 習 〉

果物や野菜、ワインボトルを机に置いて、参加者全員で写生をしました。堀江先生のアドバイスを受けながらスケッチから着色まで、指導の要点を学ぶことができました。

〈 講 義 〉

写生会の題材と指導のポイントについて、具体物を交えながら、お話をいただきました。



スケッチやデッサンについて専門的に学んできたわけではなかったので、とても勉強になる内容でした。2学期に写生会があるため、描き方など早速取り組んでいきたいと思います。

どのようにして描くのか、どのように塗るのかなど、小学校で子どもたちに教えていた方法ではないものを知ることができおもしろかったです。

また、久々に絵を描いてみて、難しさ、集中力が切れてしまうこと、おもしろいところを実感できました。



彩色の失敗例など具体的に考えていただき、とても参考になりました。久しぶりに絵の具を使って塗る作業をしたことで、子どもたちに指導する際に気をつけることなど、改めて気がつくことができました。



写生会での指導をするときに、

- あまり指導を詰め込みすぎない。
- 子どもが紙面に自分のイメージを表現できているか。
- 子どもが何を見ているかを理解するために、教師も子どもと同じ目線になる。など、教師として他の指導にもつながる視点だと感じました。

絵を指導する時に、どうしても小さく描いてしまう子が多く悩んでいましたが、対象の中心から描いて広げるなど、どうしたら大きく描けるか具体的に教えていただけたので良かったです。学んだことを意識しながら実践することができました。やはり頭では理解していても、実際にやってみると難しい部分が多く、教師が事前に描く必要性を実感しました。

研究委託校・実践校の紹介

安平町立追分小学校

確かな学力を身に付け
進んで学ぶ子の育成
～算数科における授業改善と主体的な学習を
支える学習環境づくりを通して～

本校では、『確かな学力を身に付け進んで学ぶ子の育成』～算数科における授業改善と主体的な学習を支える学習環境作りを通して～を研究主題として、3か年計画で研究を進めてきました。

今年度は、その3年目のまとめの年にあたります。これまでに、①算数科における問題解決型の授業の流れ、②適用問題の工夫、③「揃える」を合言葉に学習環境の整備、④ワークショップ型事後研の在り方について取組を進めてきました。特に、昨年度からは、①と②を発展させ、言語活動・表現活動に重点を置いた算数的活動を充実させることに力を入れてきました。

この秋には、公開研究会を開催し、参加された先生方よりたくさんのご指導、ご感想を賜り、さらに研究を深めてまいりたいと考えています。



2年「かさ」算数的活動 ペア交流



5年「多角形」算数的活動 集団解決

公開研究会
11月11日(金)

白老町立萩野小学校

自ら考え
進んで表現する子の育成
～国語科における学びの充実を通して～

研究2年目の今年度は、国語科の全領域において、指導事項を明確にした「単元を通した言語活動」の充実を目指しています。

単元の導入段階における「言語活動のゴールの見本」の提示や「単元の指導計画」の教室掲示などの工夫により、活動への高い意識と見通しをもちながら児童の学習が展開されるよう日々の実践を積み重ねています。

11月に開催予定の公開研究会では、児童が「わかった・できた・楽しい」と感じる授業をお見せできるよう、研究実践を積み重ねていきたいと考えています。



2年特別支援「スイミー」
文にあった絵を選ぶ



4年「動いて考えてまた動く」
構成を考える

公開研究会
11月10日(木)